

福祉部門との連携による相談実施事業（埼玉司法書士会）

課題	高齢者の施設入所、入院後の空き家の管理・利活用について
目的	法務（空き家）部門と福祉部門との連携に向けたネットワークづくり
取組内容	モデル市町における空き家部門からの働きかけによる包括センターとの連携
成果	3市町でモデル事業として相談実施に向けた連携を実施 ⇒成果物として実施報告書を作成

連携に向けての対応

- ①連携先の選定
- ②連携に向けての持込
- ③説明会の開催（包括向け）
- ④空き家相談リーフレットの作成
- ⑤連携相談の実施

今後の展開

- 対象とする空き家に認知能力の低下による管理不全にシフトを検討
- 勉強会の開催等による包括への直接のアプローチと相談手法の見直し

連携相談の実施

- ・ 予約:WEB相談としたことからWEBでの予約のみとした
- ・ 実際の相談件数:0件
- ・ コロナ渦での事情
 - － 包括を訪問しての広報が難しかった
 - － 包括主催のケアマネ向けの研修会への講師派遣を予定していたが断念